

進学 Now!

石橋高校
進路指導部
保護者版 5月

2024.5

0. はじめに

2024年度が始まってから約1ヶ月が経ち、生徒達も新たな環境にようやく慣れてきたことと思います。ここ数年目まぐるしく変化している大学入試ですが、今年度は新たな教育課程での入試となります。入試情報については毎年変化しますので最新のものを確認しながら、お子様の将来について家族で話し合う時間を持っていただくようお願いいたします。

この「進学Now!」はその時期・その学年に相応しい話題を提供していきたいと考えてます。PTA総会でもお話をさせて頂いた通り、奇数月に発行（ホームページに掲載）いたします。少しでも保護者の皆様のお役に立てればと考えておりますので、是非ご覧ください。

1. 令和5年度卒業生（令和6年3月卒）の進路状況について

この春に卒業した3年生は、昨年度の卒業生と同様に、コロナ禍で学校生活に制約が多い状態で入学した学年でした。しかし、徐々に行動制限が緩和され、2年次には修学旅行が例年通りに関西方面で実施することができ、3年次では石高祭や合唱コンクールなど大きな行事もコロナ禍前の形態に戻りました。不完全な面は多少ありましたが、学校行事にも意欲的に取り組むことで、受験勉強への切り替えもスムーズに進んだのではと考えています。

さて、今年度の大学入試結果ですが、現役生の[国公立大学合格者数が129名を数えました](#)。その中でも、募集人員が前期日程に偏る中、中後期日程の合格者が35名を数えたことは、本校生の粘り強さと、国公立大学への進学意欲の高さを感じさせました。私立大学の合格者数も早稲田大学4名を筆頭に、588名となりました。また、本校の目指す国立難関大学受験者も、目標とされてきた50人を3年連続で超え、北海道大学、東北大学、大阪大学をはじめ、多くの合格者を出すことができました。[詳細は全生徒に配布される「湧泉の記」をご覧ください](#)。

何より、高校入学以来3年間、国公立大学志望者が約9割を占める本校において、4年連続半数以上が国公立大学合格を達成したことは非常に喜ばしいことであります。この結果は、生徒達の努力は言うまでも無く保護者の皆様が本校の進路指導をご理解くださり、お子様を最後までご支援いただいた結果であると思います。皆様のご理解・ご協力に、心より感謝申し上げます。

本校で指導してきて感じることは、本校生の持つ潜在能力は本当に素晴らしいということです。その能力を開花させるためには、途中で安易な選択に流れず、最後の最後まで努力する姿勢を維持することができたかどうかにかかっていると強く感じます。そして、その姿勢を助けるのが、[同じ目標に向かって頑張る素晴らしい仲間達の存在](#)です。学年のまとまりと元気・勇気が石高生の支えとなっています。反面、精神面の弱い生徒も年々増えてきています。どうぞ保護者の皆様の助言と励ましを最後までいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 3年生のこの時期

5月24日から進研マーク模試が行われますが、この模試はこれまでの模擬テストとは次の3点で意味合いが大きく異なります。

- (1) 3年になって初めての校外模試であること
- (2) 志望校判定の信頼性が高まり、本番の共通テスト結果との強い相関関係が見られること
- (3) 模試結果が1学期中には返却され、夏休みの学習の指針となること

(1) については共通テスト独特の形式に慣れ、失敗しない方法を身につけるという点で重要です。緊張感を持って受験し、その姿勢を今後に生かして欲しいと思います。(2) についてはおよそ78%の相関関係があり、[5月マークの点数+100点を大学合格のボーダーラインと照合](#)し、受験する大学を絞り込む際の重要なデータとなります。もちろんこの結果がすべてではなく、部活動引退後に急成長したり、逆に伸びを欠くケースもありますが、データとしての重要性は大きいです。判定に一喜一憂しないことが大切ですが、志望校合格に向けて自分に何が出来るのかを本気で考えることが重要です。(3) については、次第に緊張感と焦りが出てくる時期ですが、部活動加入率の高い本校生は、夏休みに向けたこの時期が[スイッチを切り替える絶好の機会](#)とな

ります。夏休みを待つことなく学習室に残るなど学習習慣を改め、これからのスパートを有効に行うための心の持ち方を準備して欲しい時期になります。

模擬テストは練習試合のようなものです。「本番に勝つ」ための準備と捉えて、計画的に目標を定め、今後の模試に取り組んで欲しいと思います。保護者の皆様からも心構え等についてご指導いただければ幸いです。

3. 2年生のこの時期

文理選択に基づいたクラス替えが行われ、授業も大学入試をより意識したものになってきました。生徒達も次年度を見据え、中堅学年として自覚ある行動が求められます。

進路において [2年生に意識して欲しいことは](#)、次の3点です。

- (1) 大学および学部・学科を理解するために主体的に行動する。
- (2) テーマ研究をグループ内で他の生徒と協調し、積極的に行う。
- (3) 進路実現のため必要な基礎学力を養成する。

2年生では「夢・描写プログラム」を実施しています。具体的には、各自の目標や興味・関心に合わせて、[大学や研究施設を訪問し、進学に関する詳細な情報を得る](#)ことですので、主体的な取り組みが求められます。年々オープンキャンパスや体験講座も充実しつつありますので、大きなチャンスが広がっています。テーマ研究は、先生方に指導していただく段階に入りました。単純に知りたいことを調べるのではなく、物事の本質に迫る研究に取り組んで欲しいと思います。近年は大学受験の出願に当たり、「活動実績報告書」の提出を求める大学も増えています。しっかり取り組むことが、将来的に希望進路実現の助けになります。

2年生は部活動の中心選手として多忙ですが、進路実現には第一に英数国の実力養成は欠かせません。自分のペースを確立し、[一日の中の文武両道](#)を実践して欲しいものです。

4. 1年生のこの時期

入学して一ヶ月経ちましたが、家庭での様子は如何でしょうか。進学を目指す本校生にとっては安定した学習習慣が不可欠です。学習に重点を置いた生活をご指導くださいますようお願い申し上げます。生徒によっては本校の授業進度や部活動との両立に悩み、戸惑う場面が出てきているかもしれません。しかし、全国の高校生も同様の経験をしているはずで、自分を成長させる一助と捉え、学習・部活動に全力で取り組んで欲しいと思います。

いよいよ[初めての中間テスト](#)があります。本校生の誰もが優秀な成績で中学時代を過ごしたと思いますが、3年後に生徒達が挑む大学受験を意識した難易度の問題が出題され、思う通りに行かない場面もあるかと思っています。何かありましたらクラス担任や教科担任、部活動顧問等に相談するよう指導しておりますので、保護者の皆様も、お子様の様子にご注意くださいますようお願い申し上げます。

2学期は文理選択が始まります。後悔をしない決定のためには情報収集が不可欠です。夏休みのオープンキャンパスや体験講座への参加を見越して、少しずつ計画を考えると良いでしょう。

5. おわりに

保護者の皆様をお願いしたいことは、まず第1に、将来に向けてどんな過ごし方をすれば良いか、優先順位をどのようにすれば良いか、[お子様と話し合う時間を持って欲しい](#)ということです。

世の中の変化が激しく、進学も就職も一昔前に比べると大きく変化してきています。それに伴い、生徒達の気質も大きく変化していると感じます。これからの時代に向けて、何を重視するかは、ご家庭ごとに異なる場合もあるかと思っています。是非、お子様と本気で向き合う時間を持っていただきたいと思います。もう一つは、正確な情報収集を心がけていただきたいと思います。SNS等の発達により、[誤った情報やニュース](#)も多くなっています。信頼できる正確な情報収集を心がけ、ご参考になさってください。

最後になりますが、本校の進路指導部では、「進路」＝「今後の人生の生き方」と捉え、単なる受験合格ではなく、将来に向けた資質の向上、主体的に取り組むことのできる人材作りを目標として指導しております。16歳から18歳という大切な青春の時間は、一生に一度きりの貴重な時間です。思い切り学び、良い経験を積み、仲間と競い合い、切磋琢磨できる素晴らしい時間を過ごして欲しいと願っております。

保護者の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。また、ご不明な点や疑問点などございましたら、遠慮なくご相談ください。
進路指導部